

## 平成26年度ふれあい看護体験をふりかえって

今年度も「ふれあい看護体験」が行われました。学校の中の学習から離れ社会と関わり、自分の進むべき進路について考える良い機会になったのではないのでしょうか。ここに体験した皆さんの感想や考えたことについて紹介します。医療・福祉系の進路ではない人も、文量が多いですがぜひ最後までとばさずに読んでみてください。得るものがあるはずですよ。また1・2年次生で医療・福祉系の進路を考えている人は、来年度ぜひ参加しましょう。

### ○3年 女子○

私は初めて看護体験をしました。足浴や食事介助など実際に患者さんと触れ合い、体力がいるけど感謝の言葉を言われた時は嬉しく、とてもやりがいのある職業だと思いました。また患者さんを支えるだけでなく、逆に私たちが患者さんから得るものもたくさんありました。看護師さんの姿も真近かで見ることができ、さらに看護師という職業に惹かれた一日でした。この貴重な体験をこれからの進路にも生かしていきたいです。

### ○3年 女子○

今回、看護体験に参加させて頂き、改めて看護職への憧れと、希望が強くなりました。普段の生活では知ることのできない看護の仕事を、実際の現場で看護師さんたちの姿を見て、学ぶことができとても充実した体験をさせていただきました。

患者さんたちの元気、健康に携わったり、笑顔に触れることができる看護職はとてもやりがいのある仕事だと感じました。将来、地元や地域に貢献できる看護師になれるよう、頑張っていきたいです。

### ○2年 女子○

私は米沢市立病院のふれあい看護体験に参加させていただきました。私の主な体験内容は、車イス体験、足浴、体位交換などでした。患者さんの足浴をした時、気持ちが良いと嬉しそうに言ってくださりとてもやりがいを感じました。

一番印象に残っているのは新生児を抱っこしたことです。小さかったけど生命力を感じました。体験を通して看護は人だけでなく心もケアする仕事というのを感じさせられました。



○2年 男子○

今回のふれあい看護体験は、普段の生活ではできないたくさんのことを経験させていただきました。初めて白衣を着させてもらい、看護師になった気分でした。また、お茶やジュースをトロミ剤に入れて飲んでみたり、患者さんの気持ちになることもできました。実際の看護という現場に行き、イメージと違った部分が数多くあり貴重なことを知ることができた一日でした。今回の経験を活かし、立派な看護師になりたいです。

○3年 女子○

私は、舟山病院で看護体験をさせていただきました。患者さんの足浴、車椅子での散歩、食事介助や血圧測定、ストレッチャー移送などをして、今までに体験したことがないことなどをたくさんさせていただいて、貴重な経験になりました。

将来、作業療法士になりたいと思っているので、看護体験で学ばせていただいた、判断力を身に付けることや患者さんに応じた対応ができる作業療法士になりたいと思います。

○3年 男子○

ふれあい看護体験をさせていただき、たくさんのことを学ぶことができました。たとえば病院は医師や看護師だけで成り立っているものではなく、事務の人やリハビリ関係の人たちの力によって支えられていることや看護師が普段どのようにして患者に向き合っているかなど授業では学ぶことができないことを学ぶことができました。今回の貴重な体験をこれからの進路に活かし、進路を実現するために日々頑張っていきたいです。

○2年 女子○

今回のふれあい看護体験では実際に、患者さんと触れ合い看護師の方の患者さんに対するコミュニケーションを見て、多くのことを学ぶことができました。患者さんと接して、明るく笑顔で接すると患者さんも笑顔になってくれ、とてもうれしかったです。将来、たくさんの方々から感謝され、笑顔になってもらえるような看護師になるためにこれからももっともっと頑張っていきたいと思います。将来につながる貴重な体験ができました。

○3年 女子○

今回このような貴重な体験をすることができ、本当に良かったです。看護のことは全く知らないことばかりだったので、自分で体験することができてとても良かったです。看護は人の体をきれいに保つという意味もあるのだということを知り驚きました。私は病院にしか看護師はいないと思っていたので、看護のことを深く知ることができました。自分でもっと看護のことを調べてみたいなと思いました。